

事業報告書

第8期（令和5年8月1日～令和6年7月31日）

一般社団法人ハビリスジャパン

第8期（令和5年8月1日～令和6年7月31日）事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成28年8月1日

2. 定款に定める目的

当法人は、義肢を必要とする子ども達と、様々な障がいがある子ども達の社会参加に関わる総合的な支援体制を確立することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 障がいのある子ども達の社会参加の支援事業
- (2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業
- (3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業
- (4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業
- (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

個人会員 170名、コーポレート会員 14社

5. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー4階

6. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	長野洋	非常勤	
理事	松井秀文	非常勤	
理事	上田啓子	非常勤	弁護士
理事	藤原清香	非常勤	医師
監事	北村浩志	非常勤	税理士
監事	福村圭一	非常勤	

7. 職員（常勤）に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子	0名	0名	—	—
女子	0名	0名	—	—

Ⅱ 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 障害のある子ども達の社会参加の支援事業

下記 PAFF イベントを計 30 回開催

① Habilis kids project 「パラテコンドー教室」

令和 5 年 8 月 26 日、9 月 16 日、10 月 14 日、11 月 25 日、12 月 23 日

令和 5 年 1 月 20 日、2 月 17 日、3 月 16 日、4 月 20 日、5 月 18 日、6 月 15 日、7 月 20 日

(協賛：炫武館、ノエビアグリーン財団 2022[令和 5 年 8 月～令和 6 年 4 月教室])

パラリンピックの日本代表強化指定選手である『けんた先生』こと阿渡健太選手と一緒に、オンライン・対面と併用して毎月 1 回元気に身体を動かし、技を磨いた。毎回、仲間同士近況を報告し合い、オンラインの良さを活かし全国からお友だちが参加している。特別ゲストにパラテコンドー日本代表選手、監督、コーチが参加する回もあり、子ども達から迫力ある蹴り技に歓声があがっていた。今後も楽しくおもいっきり身体を動かしながら、子ども達の「できた!」を増やしていきたい。2 月のパラテコンドー教室は、初めてけんた先生が徳島会場に出張した。横浜会場とオンラインで繋ぎ同時開催をした。

② 令和 5 年 10 月 9 日：Habilis kids project 「みんな集まれ! 秋フェスタ! in 北海道」

(協賛：北海道科学大学、ノエビアグリーン財団 2022)

10 家族の参加と、スタッフ総数 40 名余りが集まり開催した。レクリエーションやスポーツ・体力測定などスタンプラリー形式で様々なことに体験できるよう工夫した。様々な義手・義足に触れたり、実際に装着して体験できるブースも設置した。様々な義手を試用し縄跳びやマット運動などに挑戦することができた。

③ 令和 5 年 11 月 23 日：たいそう選手になってみよう! 「運動教室&発表会」

(協賛：(株)大泉スワロー体育クラブ、ノエビアグリーン財団 2022)

発表会での演技の発表をするため、練習日(2023/11/5、11/12、11/19)を 3 回設け、技の習得を目指した。子供達は毎回の練習を一生懸命に取り組み、ご家族からは「家でも楽しそうに練習をしていました。」との声があった。当日緊張する様子もあったが、大会が始まると楽しそうな様子があり全員が演技を披露することができた。結果、全員がメダルを獲得し「楽しかった!」「頑張ったよ!」と笑顔で終えることができた。

④ 令和 6 年 2 月 25 日：Habilis kids project 「てつぼうに挑戦してみよう!」

(協賛：(株)大泉スワロー体育クラブ、新橋ロータリークラブ)

今回はみんなで鉄棒に挑戦した。参加した子ども達の手足の形は異なるため自分の方法を大泉スワローの体操指導者と一緒に探し、自分に合った方法で初逆上がりにチャレンジした。初めは鉄棒を低くして回転の感覚をつかみ、次に逆上がりに使う筋力のチェック、その後足上げのキックのタイミングを練習し、最後に頭の後ろに高くキックする練習を行なった。全員がそれぞれの方法で見事に逆上がりをする事ができ、みんなで運動を楽しむことができた。

開催の様子：<https://www.youtube.com/watch?v=qoL-lt39jVk>

- ⑤ 令和6年3月10日：Habilis kids project 「スキー・スノーボード教室 in 越後湯沢」
(ノエビアグリーン財団 2022)

スノーボード指導者、医療関係者同席の下、パラスノーボード教室を開催した。初めはボードの履き方から始まり、平地での滑る練習、リフトに乗り斜面での滑走練習と段階的に習得を目指した。去年参加したお子さんも参加しており午前中から先生と一緒にリフトに乗って、繰り返し滑っていた。「今年はたくさん滑ることできて楽しかった！去年より上手になった！」との声があった。

- ⑥ 令和6年4月20日：Habilis kids project アンプティサッカーin 福井
(協賛：福井大学、ノエビアグリーン財団 2022)

アンプティサッカー（上肢下肢に切断障害のある人がプレーするサッカー）＆競技用車椅子体験のイベントを開催した。ロフストランドクラッチ*を使って動く練習、パスやドリブル、シュートの練習を行った。子どもたちはクラッチを使って体のバランスを取りながら、次第にボールの扱いに慣れていく様子がみられた。競技用車椅子体験では、陸上競技の選手の方から一般の車椅子と競技用車椅子の違いや使い方を教わった後、実際に乗車した。子どもたちは楽しそうに体育館中を駆け回っていた。質問コーナーでは、アンプティサッカーと車椅子陸上の選手の方から、練習する際の心持ち等を教えていただいた。また、選手の方の獲得したメダルに触らせてもらい、子どもたちは目を輝かせていた。

*ロフストランドクラッチとは、1本の脚と体重を支えるグリップ、腕を支えるカフを備えた杖である。

- ⑦ 令和6年4月21日：Habilis kids project 「水泳教室」
(協賛：(株)大泉スワロー体育クラブ、新橋ロータリークラブ)

日本スポーツ協会公認コーチ資格水泳指導員の下、パラ水泳教室を開催した。水泳のパラリンピアンも指導と交流に加わっていただくなか、9家族が参加した。水慣れから、上手な泳ぎ方、コツなど子どものレベルに合わせて3チームに分かれて行なった。「障害が原因で自宅近くの水泳教室から断れてしまったので、今回参加できて嬉しかったです」という声も聞かれ、障害のある子どもたちが挑戦したい活動に取り組める場所は健常児よりも少ないということが改めてわかった。

- ⑧ 令和6年5月3日：Habilis kids project 大阪 「長居であそぼ」
(協賛：大阪市長居障がい者スポーツセンター)

長居スポーツセンターの体育室で午前に体力測定と、運動指導専門員の指導のもと午後にレクリエーション&大運動会を行った。体力測定は、両足連続跳び、握力、捕球など合計7種類を実施しました。午後は、音楽体操、風船バレー、玉入れ、借り物競走など約10種目のレクリエーションを行った。どの種目も盛り上がり、さまざまな運動の楽しさを知ることができた。

⑨ 令和6年5月25日：ブレイクダンスイベント

(主催：東京大学スポーツ先端科学連携研究機構 (UTSSI) 共催：ハビリスジャパン)

当法人初めてのブレイクダンスイベントを開催した。はじめは体力測定から開始、子ども達は真剣な表情で取り組み、集中して測定に臨んでいた。次に行われたブレイクダンスは、初めての挑戦に少し緊張している様子が見られたが、先生のデモンストレーションを見た後、安心して練習を開始することができた。最後の発表会では、初めてとは思えないほど音楽に合わせて自信を持って踊る姿が見られ、全員が楽しんでパフォーマンスを披露した。今回のイベントを通じて、子ども達は新しいことに挑戦し、達成感を得ることができた。

⑩ 令和6年6月2日：Habilis kids project「縄跳びに挑戦してみよう！」

(協賛：(株)大泉スワロー体育クラブ、READY FOR)

一般社団法人トヨタ・モビリティ基金と協働して開発した縄跳び用手先具「スキッピー」を使用して初めての縄跳び教室を開催した。大泉スワローの体操指導者と一緒に探し、自分に合った方法で子ども達は縄跳びにチャレンジした。初めは跳ぶ練習を行い、次に縄を持って回す練習、最後に縄を回しながら跳ぶ練習を行い、段階的に縄跳びの練習を行なった。全員がそれぞれの方法で縄跳びに挑戦ことができ、跳べると笑顔が見られた。

開催の様子：<https://www.youtube.com/watch?v=xI95MB6hi4g>

(2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業

① 教育セミナー開催

(ア) 令和5年8月1日、令和6年4月26日

(ノエビアグリーン財団 2022)

Habilis 教室 手足に障がいのある子どもたちへの運動支援

手足に特徴のある子どもたちがスポーツを通じて自分の可能性を広げられる環境を整えることを目的に手足に障がいのある子ども達とその家族、子ども達をサポートしている専門職、テーマに興味のある方を対象にハビリス教室を開催した。第1回のテーマは、「パラアスリートと体育クラブの先生から運動することの楽しさやその意義、運動に関する正しい知識について学ぼう!」、第2回のテーマは、手足に特徴のある子どもたちへの運動支援として「病院の先生やエンジニア、体育クラブの先生に運動用義手や指導法について」話をしていただき、学びの場を提供した。

(イ) 令和5年11月18日 Skills For Life Japan

手足に特徴のある子どもやそのご家族、専門職が集まり、スキルと情報の交換会を実施した。「普段使っている義手を他の人たちはどう使っているのか?」をテーマに、ユースピーチ、医療専門職によるレクチャー、海外の義手事情の3部構成で進行的。活発な質疑応答が行われ、参加者間で情報共有が深まった。今後も各自が持つスキルを共有できるこのような場を継続していくことが期待される。

② 家族交流会での情報交換会

(ア) 令和5年8月26日、9月16日、10月14日、11月25日、12月23日

令和5年1月20日、2月17日、3月16日、4月20日、5月18日、6月15日

オンラインしゃべり場 ～悩みや不安を相談してみませんか？～

手足に欠損のある子ども達、その家族を対象に同様の障がいがある先輩に相談できるイベント、しゃべり場を毎月1回開催した。先輩に様々な悩み、相談、質問など活発な相談および話し合いの場となっている。オンラインを活かし全国のご家族と毎回楽しく家族交流を行うことができた。子ども達や家族から沢山の相談や質問があった。

(イ) 令和6年7月20日 Habilis kids project 「家族交流会 in 夏休みパラテコンドー教室」

参加者がお互いの習い事や挑戦していることをテーマに話を行った。それぞれの子どもの経験や工夫を共有する場となった。先輩も参加することで先輩にも相談できる場となり、活発な意見交換を行うことができた。

(ウ) 令和6年2月25日: Habilis kids project 「家族交流会 in 運動教室」

ご家族同士で、お子さまの手足に関する不安や学校での悩みについて、互いに相談し合う場がありました。また、東京大学医学部附属病院の藤原先生へ「靴下はどう履くの？」「義手や義足ってどんなもの？うちの子も使えるの？」といった質問が寄せられ、それぞれの思いや悩みを共有しました。

③ 専用サイト運用 [アドレス (<https://habilisjapan.com>)]

当法人のHPを訪れた人に広く情報を発信した。

④ ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の専用アカウントによる情報発信

Facebook、Twitter、InstagramならびにYouTubeの専用アカウントで、イベントで得られた情報を発信した。特に今年度はInstagramに注力して昨年度よりも多くの投稿を行った。現在、フォロワー数は470人を突破した。

⑤ マスメディア等を通じた情報発信

令和6年3月13日 「義手を使う子どもたちの”縄跳びに挑戦したい”に応援を！クラウドファンディング開始のお知らせ」PR Times からプレスリリースを行なった。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000003.000079285.html>

⑥ 絵本を通じた啓発活動

絵本を通して対象児及び家族が義肢や当法人について知る機会を提供するため、絵本「いろんなおててとぼく」の販売を引き続き行っている。

(3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業

① イベントを通じたアンケート結果とデータ分析・地方開催の実現

今年度も各イベント実施時に参加者家族にイベントに関するアンケートを実施し、子ども達と家族からはイベント参加によって良い変化があったとの声が寄せられた。北海道、福井、大阪、東京でのイベント開催時には、体力測定および生活習慣に関するアンケートを実施した。来年度は、コロナ前後の体力測定の結果の分析結果の発表、生活習慣アンケートのオンライン化、小児用アクティビティ・日常生活用義肢の要望調査を進めていく予定である。

② 運動用義肢の開発

本邦の幼児教育・保育および小学校における子ども達の活動を支援するため、小児用アクティビティ・日常生活用義肢の開発を目的に、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金と協働して縄跳び用手先具「スキッピー」の開発を行った。この手先具の貸与を目的に、クラウドファンディング「義手を使う子どもたちの”縄跳びに挑戦したい”に応援を！プロジェクト」を実施し、目標金額を達成した。これにより、来年度よりスキッピーのレンタルを開始する予定である。

(4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業

昨年度まで行ってきた貸与事業を今年度も実施し、現在 Shroom7 名 Tamtam9 名 Hamo11 名の手先具貸与を実施している。筋電義手は1名の会員に貸し出しを行なっている。(令和6年7月末現在)

(5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

① 会員、寄付者、提携サポーターの募集活動

本法人の目的を広く認知していただくために、ハビリス会員、コーポレート会員、寄附者の募集を行った。第7期はハビリス会員170名、賛助会員14社となった。寄附者は5社/101名であった。

② 各法人・団体・個人との連携・協力体制の構築と継続的な情報交換（敬称略）

今年度は、東京新橋ロータリークラブ、東京大学医学部附属病院リハビリテーション科、東京大学スポーツ先端科学研究拠点、大泉スワロー体育クラブ、川村義肢、大阪市長居障がい者スポーツセンター、NPO 法人 Hand&Foot、先天性四肢障がい児父母の会、全日本テコンドー協会パラ委員会、(株)東鋼、(株)今仙技術研究所、(株)田沢製作所、東京大学大学院工学系研究科、福井大学医学部附属病院リハビリテーション科、琉球大学、炫武館のご協力があり多様なイベントを開催することができた。

③ その他

(ア) 公益財団法人三菱財団より「スライドリコーダーの製品化と障害のある児童への適応評価、有用性の実証と普及支援活動」に助成金額570万円を得ており2023年10月～事業を行っている。

(イ) ILBS 国際福祉協会より義手各種購入費用として102,3660円を得ている。

(ウ) その他寄附金等について

- ・ NTT 労働組合様より30万円
- ・ 東京新橋ロータリークラブ 様より99,500円

主な事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
障がいのある子ども達の社会参加の支援事業	PAFF パラテコンドー教室	2023/8/26 2023/9/16 2023/10/14 2023/11/25 2023/12/23 2024/1/20 2024/2/17 2024/3/16 2024/4/20 2024/5/18 2024/6/15 2024/7/20	炫武館・対面 オンライン併用 炫武館・対面
	夏休みパラテコンドー教室		
	みんな集まれ！秋フェスタ！ in 北海道	2023/10/9	北海道科学大学・対面
	たいそう選手になってみよう！ 「運動教室&発表会」	2023/11/23	大泉スワロー体育クラブ・対面
	てつぽうに挑戦してみよう！	2024/2/25	大泉スワロー体育クラブ・対面
	スキー・スノーボード教室 in 越後湯沢	2024/3/10	新潟、越後湯沢・対面
	アンプティサッカーin 福井	2024/4/20	福井大学・対面
	PAFF 水泳教室	2024/4/21	大泉スワロー体育クラブ・対面
	PAFF 大阪長居であそぼ	2024/5/3	長居スポーツセンター・対面
	ブレイクダンスイベント	2024/5/25	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構(UTSSI)
	縄跳びに挑戦してみよう！	2024/6/2	大泉スワロー体育クラブ・対面
リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業	[教育セミナー] ハビリス教室	2023/8/1 2024/4/26	オンライン オンライン
	Skills For Life Japan	2023/11/18	舞浜、対面
	[情報交換会] 家族交流会	2024/2/25 2024/7/20	大泉スワロー体育クラブ・対面 大泉スワロー体育クラブ・対面
	しゃべり場	2023/8/26 2023/9/16 2023/10/14 2023/11/25 2023/12/23 2024/1/20 2024/2/17 2024/3/16 2024/4/20	オンライン

	HP、Instagram、Facebook 上で の上記イベントの報告書作成と 掲載	2024/5/18 2024/6/15	(報告書) 当法人 HP/Facebook/ Instagram
小児用アクティビティ・ 日常生活用義肢等の 開発・調査研究事業	PAFF イベントでのアンケート 体力や生活習慣についてのア ンケート	随時 随時	随時 随時
小児用アクティビティ・ 日常生活用義肢等のレ ンタル事業	TRS 社 Shroom Tumbler/ 今仙 義肢 Tamtam-Hamo /Ottobock 社の筋電義手を個人へ貸与	随時	随時

その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
その他、当法人の目的を 達成するために必要な 事業	フライヤー作成・会報発行等 による広報活動	随時	法人事務所

2. 重要な契約に関する事項

該当事項なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会・社員総会について

実施年月日

令和 5 年 10 月 12 日 第 32 回 理事会

令和 5 年 10 月 28 日 第 17 回 社員総会

令和 6 年 2 月 16 日 第 33 回 理事会

令和 6 年 7 月 12 日 第 34 回 理事会

令和 6 年 7 月 26 日 第 18 回 社員総会

(2) 専門部会について

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
専門部会長	大西謙吾	非常勤	大学教員（工学）

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：円

事業年度	令和6年7月期
正味財産収益合計	5,919,206
正味財産費用合計	7,488,562
正味財産増減額	-1,599,556
資産合計	12,214,208
負債合計	0
正味財産	12,214,208

Ⅲ 法人の課題

事業拡大と持続的な活動を目指し、運営クルーを増員し、チームごとに事業を分担して実施した。これにより、今年度は円滑なイベント運営が可能となり、より多くのイベント開催とSNSを通じた情報発信が実現した。今後も事業のさらなる拡大に備え、持続的に活動を行うことのできる運営体制を整備する必要がある。そのため、資金調達として今年度初めてクラウドファンディングに参加し、目標額達成（目標金額の700,000円に対して、880,000円と目標を超過達成した。）により縄跳びイベントの費用を賄うことができた。今後も多様な資金調達を検討し、また、昨年度同様に助成金に依存せずに本法人の運営体制を維持するため、広域的な事業展開や支援の強化、支援者の増加を目指した広報活動や社会啓発を目的とした情報発信基盤の整備を引き続き実施していく。

Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

なし

第8期(令和5年8月1日～令和6年7月31日)事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が

存在しないので作成しない